

中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) 各パートにおける解答例

本資料では、ESAT-J の解答例と、各回答の採点結果を紹介します。自分の回答と似ている解答例と、その他の解答例や採点結果とを比較しながら、よりよく相手に伝えるためには、どのようなことに気を付け、どのような表現を使えばよいのか、考えてみましょう。



**Part A 音読**

本資料は、実際の回答音声を参考に作成しています。また、解答例には誤りのある文や語句を含んでいます。実際には、誤りがあっても、採点基準に従って、「できていること」を評価しています。「音声」や「言語使用」の観点について、「◎」や「○」に到達していなかったり、「コミュニケーションの達成度」の観点で「×」があつたりしても、ESAT-J GRADE の「A レベル」に達することがあります。

■ 出題の趣旨と測定する力

- ・ 聞いている人に意味や内容が伝わるように、正確な発音と適切な流ちょうさで音読する力

■ 採点の観点：

- ・ 「音声」の観点で4段階で評価（◎：3、○：2、△：1、×：0）

採点基準	音 声
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求められている解答内容から明らかに外れている。</li> <li>・ 英語ではない、あるいは、英語として通じない。</li> <li>・ 力を測るための十分な量の発話がない（時間内に一定の分量を読み切れていない場合も含む）。</li> </ul>	×(0)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単な単語や語句の強勢は適切であるが、全体を通して発音の誤りが生じ、抑揚がほとんどない。</li> <li>・ 不自然なところで区切っていたり、言葉や言い回しを考えたり言い直したりするための間（ま）が多い、もしくは不自然に長かったりすることがあり、話についていくことが難しい。</li> </ul>	△(1)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発音は概ね理解できるが、強勢、リズムや抑揚が、聞き手の理解の支障となることがある。</li> <li>・ 不自然なところで区切っていたり、言葉や言い回しを考えたり言い直したりするための間（ま）が不自然に長かったりすることがあるが、話についていくことには可能な程度である。</li> </ul>	○(2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発音は概ね正しく、強勢、リズムや抑揚が、聞き手の理解の支障となることはない。</li> <li>・ 言葉や言い回しを考えたり、言い直したりするために、間（ま）を取ることがあるが、発話中の間（ま）は、概ね自然なところにあり、不自然に長くない。</li> </ul>	◎(3)

◇ 特別措置について

事前に申請のあった生徒に関しては、採点時に「注意深く聞く」という配慮を行います。なお、この「注意深く聞く」という配慮には、症状として可能性のある難発（言葉が出せずに間を空くこと）や連発（音を繰り返す）などについての配慮を含みます。

■ 出題内容

- ／ 強く読むところ
- ／ 区切り
- ↗ 語尾を上げ調子で読むところ

※「強く読むところ」や「区切り」は参考です。復習等に利用してください。  
 ※採点では、聞いている人に意味や内容が伝わるかどうかを評価しており、記号のとおりに読めているかどうかを確認しているものではありません。

No.1

Tom always had his soccer ball / with him. // He even took it / to bed.  
 // One day, / he put the ball / into his bag / and took it with him / to  
 school. // After lunch, / he looked in his bag. // The ball wasn't there. //  
 Where was it?

No.2

Do you drink tea? ↗ // You may have seen that / there's a new tea shop  
 / next to our school. // It opened last Saturday. // Yesterday, / I got  
 some tea / at the new shop / with my family. // It was great. // You  
 should try the shop, / too!

## Part B 質問を聞いて応答する

### ■ 出題の趣旨と測定する力：

- ・ 図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力
- ・ 図示された情報を基に、自分から質問する、考えや意図を伝える、相手の行動を促すなどやり取りする力

### ■ 採点の観点：

- ・ 「コミュニケーションの達成度」の観点で、2段階で評価（○：1、×：0）

※ 単語や語句のみの解答でも、コミュニケーションの目的を達成している場合には評価します。

### ■ 出題内容

#### No. 1 Which floor is the restaurant on?

	解答例	コミュニケーションの達成度	採点のポイント
1	(It's on) the second floor. / Second.	○(1)	(レストランが) 2階であると応答できている。
2	The floor two.	○(1)	
3	(It is) second floors.	○(1)	
4	Two floors. / Two floor.	×(0)	質問への応答の内容が誤っている（「2階」とは異なる意味になっている）。

#### No. 2 Which event will start the earliest?

	解答例	コミュニケーションの達成度	採点のポイント
1	The skiing event (will start the earliest). / Skiing.	○(1)	(最初に始まるイベントが) スキーであると応答できている。
2	Ski.	○(1)	
3	At 3:15 pm.	×(0)	質問に対する応答になっていない。
4	Basketball.	×(0)	質問への応答の内容が誤っている。

#### No. 3 There are three activities. Which one do you want to do?

	解答例	コミュニケーションの達成度	採点のポイント
1	I want to [wash cars / sell cakes / sing (at a mall)].	○(1)	あなたのやりたい活動を応答できている。
2	Singing.	○(1)	
3	Making cakes.	○(1)	
4	We want ---.	×(0)	あなたのやりたい活動について応答できていない。
5	I want to dance.	×(0)	あなたのやりたい活動をチラシの中から選べていない。

#### No. 4 The club is going to visit this zoo.

	解答例	コミュニケーションの達成度	採点のポイント
1	What animals can we see?	○(1)	案内に書かれていないことで、さらに知りたいことを尋ねることができている。
2	Can I buy lunch at the zoo?	○(1)	
3	How will we get there?	○(1)	
4	I want to know about the animals we can see.	○(1)	すでに与えられた情報について尋ねている。
5	Are we going to the city zoo?	×(0)	
6	What time is lunch?	×(0)	
7	I want to visit a park.	×(0)	

※ 「---」は、回答中の間（ま）や判別できない箇所を表しています。（以下同様）

## Part C ストーリーを英語で話す

### ■ 出題の趣旨と測定する力

- ・ 日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力

### ■ 採点の観点

- ・ 「コミュニケーションの達成度（1コマめから4コマめのそれぞれのイラストの内容[事実]を伝えることができていないか）」の観点で、それぞれ2段階で評価（○：1、×：0）
- ・ 「言語使用」の観点で5段階で評価（◎◎：4、◎：3、○：2、△：1、×：0）
- ・ 「音声」の観点で4段階で評価（Part 1と同様の採点基準を用いる）



※「コミュニケーションの達成度」が「×」（コミュニケーションの目的が達成されていない場合）でも、「言語使用」や「音声」の観点は別に評価します。

### ■ 出題の内容

- ・ Part Cは、4コマイラストの問題です。これから画面に表示される1コマめから4コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が30秒あります。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は40秒です。このPartには例題はありません。
- ・ 設定文：あなたは、昨日あなたに起こった出来事を留学生の友だちに話すことになりました。イラストに登場する人物になったつもりで、相手に伝わるように英語で話してください。

	解答例	コミュニケーションの達成度				言語使用		
		採点のポイント	①	②	③	④	採点のポイント	採点
1	①Yesterday, I- I went trip by train. ②It's time, --- a bird with flower. ③--- ④And, the bird put on flower with on the - --		○ (1)	× (0)	× (0)	× (0)	・ 簡単な事柄なら言い表すことができる。 ・ 使用している語彙や表現の幅が限られている。 ・ 文構造及び文法の使い方に誤りが非常に多い。	△ (1)
2	①Yesterday, I took the train. ②After that, I--- the bird--- the bird --- ③The bird took a hat with --- ④And it dropped the flower and went somewhere.		○ (1)	× (0)	× (0)	○ (1)	・ 簡単な接続詞を使って、簡単な描写を羅列することができる。 ・ 使用している語彙・表現や文法の幅が限られている。	○ (2)
3	①Yesterday, first, --- train at the station. ②And, a bird flew into the train. ③And sat--- sat on my hat. ④After that, the bird put a flower on my -- and bird there.	① 私が電車に乗ったことが分かる。	× (0)	○ (1)	○ (1)	× (0)		○ (2)
4	①Yesterday, I took a train to go to school. ②And, when I sat at the seat, a bird came into the train. ③And, it had--- it took a flower with him. And, the bird are hat --- on my hat. ④And then, it placed the flower and went away. I was very happy to get a --- a very beautiful flower from the bird.	② 電車の中に鳥が「入った」ということが分かる。 ③ (花を持った)鳥が帽子の上に乗ったことが分かる。	○ (1)	○ (1)	○ (1)	○ (1)	・ 幅広い語彙・表現や文法を使用し、アイデアを伝えることができる（出来事を具体的に説明している）。 ・ 簡単なアイデアを順序立ててつなげることができる。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方が概ね適切である。	◎ (3)
5	①Yesterday, I took a train. ②And right after I sat down, a white bird came into the train with a red flower on its mouth. ③And then, he stopped on the --- on my hat and put the flower on. ④And, it flew out. That was very surprising.	④ 鳥が花を置いて飛んで行ったことが分かる。	○ (1)	○ (1)	○ (1)	○ (1)	・ アイデアを伝えることができる（出来事を具体的に説している）。 ・ 簡単なアイデアを順序立ててつなげることができる。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方が概ね適切である。	◎ (3)
6	①Yesterday, it was a nice day, so I decided to take a ride on a train. I got on the train, ②sat down and placed my hat on the seat beside me. Then, suddenly from outside, a bird came into the train and surprised me. ③It was carrying a red flower. That bird landed on my hat. ④After that, the bird left the flower on my hat and then flew out of the train. It all happened so quickly.		○ (1)	○ (1)	○ (1)	○ (1)	・ 豊富で幅広い語彙・表現や文法を、柔軟に使用することができる。 ・ アイデア間の関係性を整理して伝えることができる。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方が適切であり、誤解を生むような文法の誤りや、コミュニケーションを阻害するような語彙の誤りもない。	◎◎ (4)

## Part D 自分の意見を述べる

### ■ 出題の趣旨と測定する力

- ・ 聞いたことについて、自分の意見とその意見をサポートする理由を述べる力

### ■ 採点の観点

- ・ 「コミュニケーションの達成度（意見と理由を伝えることができているか）」の観点で、それぞれ2段階で評価（○：1、×：0）
- ・ 「言語使用」の観点で5段階評価（◎◎：4、◎：3、○：2、△：1、×：0）
- ・ 「音声」の観点で4段階評価（Part 1と同様に評価）

### ■ 出題の内容

- ・ Part D は、英語で話される音声を聞いた上で、質問に対する自分の考えとそう考える理由を英語で述べる問題です。英語の音声は2回流れます。そのあと準備時間が1分あります。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は40秒です。このPartには例題はありません。
- ・ 設定文：海外姉妹校の生徒であるマイクから、ビデオレターで質問が届きました。そこで、あなたは、英語で回答を録音して送ることにしました。ビデオレターの音声を聞き、あなたの**意見**を述べ、そう考える**理由**を詳しく話してください。日本のことを知らない人にも伝わるように説明してください。

**At my school, we can choose different foods for lunch. For example, I had pizza for lunch today, and one of my friends had a hamburger. But I heard that in Japan, students have the same school lunch. In your opinion, which is better for students: eating the same school lunch or choosing different foods for lunch? Tell me why you think so, too. I'm waiting to hear from you!**

	解答例	コミュニケーションの達成度			言語使用	
		採点のポイント	意見	理由	採点のポイント	採点
1	①I thinks the school. ②Because use, I want choose mine.		× (0)	× (0)	・ 使用している語彙や表現の幅が限られている。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方に誤りが非常に多い。	△ (1)
2	①I think American food is very healthy. ②I eat ----		× (0)	× (0)		△ (1)
3	①I think we can choose lunch, it is ----		○ (1)	× (0)		△ (1)
4	①Japanese student can choose food. ②Choosing food is healthy. I want to choose the vegetable and fish.		× (0)	○ (1)	・ 使用している語彙・表現や文法の幅が限られているが、簡単な接続詞を使って、アイデアをつなげたりすることができる。 ・ 簡単な描写を羅列することができる。	○ (2)
5	①I think the same lunch is better. For example, pizza is not healthy, so you are not healthy. ②I think --- if we eat the same lunch, all of us can become healthy.		○ (1)	○ (1)		○ (2)
6	①I think choosing different lunch is better ②because many students have a don't like food ---so we can't enjoy lunch and if we have a different lunch, we can enjoy lunch.		○ (1)	○ (1)		○ (2)
7	①I think the same school lunch is better because --- I have two reasons. ②First, the workers who make the lunch, the working time would reduce by the same school lunch. And then, the second, for the second reason, I think the food loss will be reduced by the --- by the school will make the lunch the same for all of us.	①客観的な立場から、意見が述べられている。 ②客観的な立場から、理由が述べられている。	○ (1)	○ (1)	・ 複雑な内容を説明するときに誤りが生じるが、幅広い語彙・表現や文法を使用し、アイデアを伝えることができる。 ・ 簡単なアイデアを順序立ててつなげることができる。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方が概ね適切である。	◎ (3)
8	①I think it is good to choose one's favorite food. ②It's because when we can eat our favorite food, they made us happy and have fun. And, there are some students who have some allergies like nuts. So, it's better to choose one's favorite food.		○ (1)	○ (1)		・ 幅広い語彙・表現や文法を使用し、アイデアを伝えることができる。 ・ 簡単なアイデアを順序立ててつなげることができる。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方が概ね適切である。
9	①In my opinion, it is better for students to eat the same food for lunch. It is usual in Japan -- for all students to eat the same school lunch. ②I think this is good for two reasons. One is because of the cost. Serving different types of dishes is more expensive than serving a single dish. --- For another reason, schools are not the place to enjoy having lunch, --- but the place to study instead. So in conclusion, choosing different lunch isn't a good thing and for these reasons, I think it's better to eat the same school lunch instead.		○ (1)	○ (1)	・ 豊富で幅広い語彙・表現や文法を、柔軟に使用することができる。 ・ アイデア間の関係性を整理して伝えることができる。 ・ 語彙や文構造及び文法の使い方が適切であり、誤解を生むような文法の誤りや、コミュニケーションを阻害するような語彙の誤りもない。	